



# 元気とタイムリーな情報を提供する 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年11月30日 第997号「週刊五十嵐レポート」

## 大人は信用できないと思った

20年5月日経の「私の履歴書」(女優:岸恵子氏)に、防空壕は子供や大人たちでひしめいていた。暗い穴を見た瞬間、「ここにいたら死ぬ」。(中略)防空壕にいた人のほとんどが爆風と土砂崩れで死んでしまった。大人の言うことを聞かずに飛び出した私だけが助かった。「もう大人の言うことは聞かない。今日で子供をやめよう」と思った。

13年9月日経の「私の履歴書」(オリックス:宮内義彦氏)に、敗戦体験は人格形成に影響を及ぼした。それまではペラ紙1枚の新聞に、恐ろしいニュースが載っていた。「一億一心」「鬼畜米英」の教育が8月15日を境に、掌(たなごころ)を返したように「平和国家日本の建設」。大人は信用できないと思ったし、権威主義への疑問も芽生えた。のちに政府の規制改革の仕事のとき、行政のやることがすべて正しいと思えなかったのは、これが原点だった。

18年10月本庶佑氏(ノーベル賞)のコメント、研究に関しては、自分が知りたいこと、好奇心を大事にする。雑誌「サイエンス」や「ネイチャー」に出ていくものを簡単に信じない。教科書に書いてあることを信じない。常に疑いを持って、本当はどうなっているんだろうという心。自分の目で物を観る。そして納得するまであきらめない。

11月29日付「感染最多新たに2685人」「3日連続2500人超、重症者も最多440人」。「都内で時短要請、忘年会消える?」という新聞記事。GO TOイベントも二転三転。これらを日々目のあたりにすると、人間だれしも煽られ、恐れる。数字や科学で見えないものか。

スパコン富岳によると、飲食店で、4人で食事を想定した場合、1人の発話者が正面と隣、斜め向かいに座った人にそれぞれ顔を向けて会話をしたとき、隣の人は正面に座る人の約5倍の量の飛沫が飛ぶ。斜め向かいだと、正面の1/4にとどまる。これでわかることは、4人席を2人でお互い斜め向かいに座り、隣は空席にする。マスクをすればもっと抑えられる。これは現場(戦術)の防衛(我々ができること)。国や専門家たちが対応に苦慮しているのはコロナウイルスが最強であるということか。メディアに踊らされず、冷静に行動しよう。経済を殺すわけにはいかない。

ちょっと  
気に入る出来事

最近うちのかみさまは韓国ドラマ「愛の不時着」にはまっている。もしくはネットflixにはまっている。ネットflixの怖さは、連続ドラマを切れ目なく流すところ。ついつい半日ぶつ通して見てしまう。

「愛の不時着」は2日間で全部見てしまった。さらに3回、4回と見る。主人公のファンになり、新宿の大久保まで行ってカレンダーなど買いこんだ。

元々ドラマ好き。日本のドラマは録画して見ていた。しかし最近日本のドラマは見なくなった。ネットflixの韓国ドラマは全世界向けに制作されている。所々に英語が入る。お金のかけ方も半端ではない。日本のドラマがチンケに見える。韓国ミュージシャンBTSを見ても驚く。全世界向けのパフォーマンス。韓国の芸能は韓国における最強の輸出品。国を挙げて支援している。

ネットflixは黒船。我々は世界レベルのドラマを見ることができるようになった。日本のテレビ局のドラマ制作に大きな影響を与える。

日本のアニメはネットflixでは全世界向けになる。少しは世界に向けて発信する姿勢を持つべきだと痛感。



## いまこの瞬間に徹底的にくつろぐ

仏教の瞑想において大切なことは、

いまこの瞬間に徹底的にくつろぐことです。

「ああなりたい、こうなりたい」という心や、  
どうなるかわからないことは、ほうっておくのです。

明日のことも昨日のことも意識しません。

明日はまだやってこない、昨日はもう終わったことです。

実際に生きているのは、いまの瞬間だけ。

いまの瞬間が本番だから、いまの瞬間の自分を観ていくだけです。

いまの瞬間に心に起こることを確認しながら、

修行という気持ちでやらないで、リラックスして行うのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

株式会社五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

